

ジャパネット杯 平成27年度 第39回 全国高等学校ハンドボール選抜大会

試合番号

戦 評 用 紙

あ

男子 女子 1 回戦 ・ 準々決勝 ・ 準決勝 ・ 決勝

会場 グリーンアリーナ神戸 A コート

チーム名	総得点		総得点	チーム名
県立不來方	28	16	9	県立玉野光南
		12	12	
		—	—	
		—	—	
		—	—	
		7mTC		

不來方のスローオフで始まった1回戦、不來方菊池によるミドルシュートで先制。続いて玉野光南

はセットプレーで1点を返した。両者攻撃チャンスをものにし、一進一退のスタートとなった。

不來方大窪の力強いポストプレーに警告、PTが与えられ得点。不來方のポストプレーによる連続得点

で点数が動きはじめた。前半半ば3点あいたところで玉野光南がタイムアウト。しかし流れは変わらず、

玉野光南に退場者が出ている間に不來方は連続得点、6-11と引き離した。点数が欲しい玉野光南

速攻、PTとチャンスはあるが不來方キーパー松木の好セーブに阻まれ、16-9で前半終了。

後半、玉野光南はスピードある攻撃で好スタート。開始早々の退場者による苦しい状況を耐え、速攻

で点数を詰めていった。多彩な攻撃で不來方は点数を重ね、また玉野光南は脚を生かしたDFからの

の速攻で得点し、点差は縮まらないままラスト5分。最後は不來方ポスト大窪、ロング中村、サイド

星の確実なプレーで得点。28-21で不來方が勝利した。

2016年 3月 24日

記載者氏名 弦巻 美和

ジャパネット杯 平成27年度 第39回 全国高等学校ハンドボール選抜大会

試合番号

戦 評 用 紙

い

男子 女子 1 回戦 ・ 準々決勝 ・ 準決勝 ・ 決勝

会場 グリーンアリーナ神戸 B コート

チーム名	総得点		総得点	チーム名	
県立浦添	31	20	—	4	武庫川女子大学附属
		11	—	11	
		—			
		—			
		—			
		7mTC			

今大会このカードで幕を開けた1回戦、すぐさま浦添の主将2番の先制点で試合が開始された。

浦添3番の2連続得点により3対0とし、幸先の良いスタートを切る。一方、武庫川も7mスローを

得て3対1とするが、すぐさま浦添の追加点により4対1とした。武庫川が4対2と流れを渡さない

かと思いきや、ここから浦添の猛攻が始まり、6対2としたところで武庫川はタイムアウトを取った。

その後も武庫川のポストパスは通るものの、浦添の浮き気味DFに攻めあぐね、両チームとも均衡

状態がしばらく続く。これを破ったのも主将2番のサイドシュートだった。それを皮切りに、武庫川

の疲れが見えてきた所を浦添が畳みかけ、武庫川の退場も重なり、20対4で前半を終了した。

後半開始直後、武庫川6番のシュートで20対5としたが、すぐさま浦添が追加点を重ねた。しかし、

武庫川も3連続得点により、22対8と追い上げの兆しは見えてきた。11分に武庫川の不正入場が

あり、武庫川の流れを止めた。両チームとも疲れが出て足が止まり始めミスが増え始め、均衡状態が

続いたが、浦添のダメ押しが効き、浦添が大勝した。

2016年 3月 24日

記載者氏名 藤岡 秀行

ジャパネット杯 平成27年度 第39回 全国高等学校ハンドボール選抜大会

試合番号

戦 評 用 紙

か

男子 1 回戦

会場 神戸国際大学附属高等学校体育館 コート

チーム名	総得点		総得点	チーム名																		
洛北	33	<table border="1"> <tr> <td>18</td> <td>—</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td>15</td> <td>—</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>—</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>—</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="3">7mTC</td> </tr> </table>	18	—	16	15	—	13	—			—			—			7mTC			29	高岡向陵
18	—	16																				
15	—	13																				
—																						
—																						
—																						
7mTC																						

洛北のスローオフで始まった前半、2点を連取した洛北は、その後も速いパス回しから得点を重ねる。高岡向陵はシュートを重ねるも相手の激しいディフェンスに阻まれて、なかなか得点が伸びない。しかし、残り15分頃から少しずつ勢いを盛り返し、得点差を縮めていく。双方、相手のパスミスに乗じて速攻を繰り返し、残り5分では一進一退の息詰まる攻防を繰り返し、一時、高岡向陵は一点差まで迫るが、最後は洛北の得点で2点差をもって前半を終了した。

サイドの替わった後半、先取は高岡向陵。洛北は千葉のスカイプレーなどで着実に加点。高岡向陵は相手の退場につけ込みたいが思うように得点が伸びない。14分過ぎからまた一進一退の試合展開となり、残り5分で高岡向陵は2点差に詰め寄る。高岡向陵の村井の度重なる得点もあったが、洛北が4点差をもって勝利した。

2016年3月24日

記載者氏名 青木 宏